

山洋電気株式会社 株主総会議事要旨

日時：2026年6月18日 10時00分～11時00分

場所：山洋電気株式会社本社

1. 報告事項の説明
2. 議長（山本会長）から、決議事項の説明
3. 質疑応答

情報開示について

<ストラテジックキャピタル>

新製品について質問します。その前に、質問ではないですが、IR について。説明会のスクリプトが出されるようになり、質疑応答のサマリーも出されるようになり、非常に改善していると感じております。先ほどの戦略の中でも SANMOTION については、どの部品が半導体製造装置のどこに使われるのかということの説明されていて、非常にわかりやすくなっていると感じています。

その上で、新製品 San Ace Pump になります。元々空冷が非常に強い、ファンに優れた会社であった山洋電気が、昨年リアドア用の 200φの新製品を出され、液冷の一つの形式にも対応された。今回 San Ace Pump を出されて、液冷の一番コアな所にも対応されたということで、データセンター用サーバーの冷却を全て担えることを示すいい機会であったのではないかと考えております。

それに対して、御社の情報開示はかなり限定的だったのではないかと、非常に、非常に残念に感じております。

おそらく、皆さんのお客さんや社内にいらっしゃる方は San Ace Pump というものがどれほど優秀で、今後の業績に寄与していく製品かを理解されていると思いますが、おそらく、私も含めて、本日出席している株主の皆様や、今株主ではない資本市場の参加者には全くもって伝わっていないと思います。もしかしたら、社外取締役の皆さん、技術系の出身ではない皆さんについても「確かに使えそうだが、なぜ競合に勝てるかは分からない」といった状態なのかもしれません。

是非、この場でなぜ San Ace Pump がデータセンター用のサーバー冷却市場が盛り上がり、競合も沢山いる、競合も似たような製品を出している中でも勝っていけるのか、というご説明をこの場でしていただけたらと思います。

<山本会長>

ただいま San Ace Pump に関する質問がございました。このご質問に対しまして、社長の児玉展全、そしてサンエースカンパニー社長の渡辺の2名からご説明を申し上げたいと思います。

<児玉社長>

San Ace Pump の存在価値、性能がいかなるものかということを説明します。非常に難しい。CDU とよく言いますが、冷却水を送る装置の中にポンプが 2 台設置されます。冗長運転で、1 台止まってもいいように必ず 2 台設置されます。そして今ここにあるポンプは、4U タイプのサーバーで水を送る装置においては、最高の性能のポンプになっている。

<渡辺サンエースカンパニー社長>

先ほどご紹介いただいた通り、San Ace Pump をリリースした。特徴としては、大流量、高効率、長寿命となります。特に、高効率については、我々が想定した動作点に対して、我々がベンチマークした範囲では、他社さんの製品よりも 10% から、ものによっては 30% 近く消費電力を下げられるような高効率の製品になっています。寿命に関しても、期待寿命 70,000 時間ということで、AI サーバーの安定的な稼働やメンテナンス費用の削減に貢献できる製品になっておりますので、今後も販売を進めてまいりたいと思っています。

<山本会長>

ただいま 2 名から説明を申し上げましたが、ご質問がございました株主様からは、「そんなにいいものだったら世の中に広くアピールしろよ」という叱咤激励だと思います。それにつきましては、私共も今まで幾分アピールすることが得意ではなかったところなので、是非色々な施策を考えまして、世の中に周知できるようにしていきたいと思っております。是非ご期待頂ければと思います。

4. 採決

第 1 号議案が可決。

以上